第 35 回 南海トラフ地震臨時情報

今年8月8日に、初めて臨時情報(巨大地震注意)が発表されました。気象庁からの情報に背筋が凍る思いをしたところです。

発表後、まずは、日頃の備えを再度見直すことから始め、町民の皆さまには、日常生活を継続しながら巨大地震に備えるようお願いしました。特に、家具の転倒防止や備蓄備品(水や食料、ラジオや携帯用トイレなど)の確認など、不足するものがないか、発災時にいる場所によっては、避難する場所が異なることを改めて考える必要がありました。

結果的には、8月15日午後5時に特別な注意の呼び掛けが終了しましたが、地震の起こる可能性がなくなったわけではないため、引き続き防災の備えをしていただきたいと思います。

災害は忘れた頃にやってくると言われていますが、昨今の災害は地震だけでなく、地球温暖化による異常気象で、線状降水帯によるかつてない豪雨に見舞われることが多くなっています。テレビやラジオ、インターネットからの情報を的確に捉え、早め早めの避難行動に結びつけていただきたいと思います。

まずは「自分の命は自分で守る」という意識を持ち、備えあれば憂いなしと皆で言いたいものです。